

取扱説明書
Wi-Fiカメラ 設置工事・仕様書編
Wi-Fiカメラ・モデル700シリーズ



最新更新日：2026年9月 第1版

Wi-Fi/SD録画カメラシリーズ説明書識別

C

本製品には、本書の取扱説明書は同封されておりません。以下のQRコードよりダウンロードしてご覧ください。

本書の役割

本書は、Wi-Fi/SD録画カメラのうち

・ES-CW721FW/C ・ES-CD722FW/C ・ES-CW723FW/P
の設置工事の取扱説明書及び仕様書になります。

各取扱説明書ダウンロードQRコード・URL

A	取扱説明書 基本編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-A-CamHi-Registration.pdf
B	取扱説明書 CamHiメインメニュー編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-B-Camhi-mainmenu.pdf
本書 C	取扱説明書 設置工事・仕様書編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-C-700series-kouji.pdf
D	取扱説明書 HiP2PClientで パソコン運用編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-D-HiP2PClient.pdf
E	取扱説明書 パソコンでの録画映像の 再生方法編 (SDの中身をPCで見る 方法を含む)		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-E-PCview.pdf

販売会社：合同会社エレックスシステム お問い合わせ先：info@elexsystem.co.jp 電話：045-317-9873

©ELEX_SYSTEM LLC.,Ltd. All Rights Reserved.

目次

1.安全上のご注意（必ずお守りください）	P 2
2.免責事項	P 2
3.ご注意事項と目次	P 3
4.工事前準備STEP1：いろいろな配線・接続方法の検討	P 3
① 本機・スマホ直接接続例	P 4
② 本機とWi-Fiルーター接続（スマートフォン接続）	P 5
③ 本機とWi-Fiルーター接続（パソコン接続）	P 6
5.工事前準備STEP2：Wi-Fi電波の受信距離目安を考慮した、設置位置の検討	P 7
6.工事前準備STEP3：避けた方がよい設置場所・環境	P 8
7.工事前準備STEP4：最終的には仮設して、映像を確認する。	P 9
8.本設工事	P 10
① ES-CW721FW/C	P 11
② ES-CD722FW/C	P 14
③ ES-CW723FW/P	P 17
9.設置工事応用編：プルボックス施工	P 21
仕様表：Wi-Fi/SDカード録画カメラ バレット型（筒型） ES-CW721FW/C	P 24
仕様表：Wi-Fi/SDカード録画カメラ ドーム型 ES-CD722FW/C	P 25
仕様表：Wi-Fi/SDカード録画カメラ バレット型（筒型） ES-CW723FW/P	P 26

1.安全上のご注意（必ずお守りください）



警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合もあります事から、工事業者が行ってください。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにしてください。
放置しておきますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないでください。機器内部に人体が触れますと感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気・振動の多い場所に置かないでください。
- ⑤ 濡れた手で触れないでください。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 不安定・転倒の恐れがある場所へは設置しないでください。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないでください。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けてください。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んでください。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。
- ⑩ 静電気には十分気を付けてください。特に冬季は故障の可能性が高くなる要因になります。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ずAC100Vを接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。
感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守してください。
- ⑤ 記録媒体組込製品の為、振動・衝撃を与えないでください。

2.免責事項

何らかの原因で機器に異常が見られ、その異常に伴い記録内容が消去・破壊されてしまう場合があります。
この場合の損失・損害に関しては免責とさせていただきます。
また、この場合の記録内容の復旧・復元は行っておりませんので併せてご了承ください。

3.ご注意事項



超重要！

設置工事を行う前に、別紙の

取扱説明書・基本編【A】（冊子が商品に同梱してあります）

をお読みいただき、スマートフォンと本機で接続テスト（スマートフォンで映像を見る事ができる状態）を1回行った事を前提といたします。

事前確認を行わずに設置工事を実施し、その後に「設定がうまくいかない」といった状況になった場合、原因の特定や切り分けが難しくなることがあります。

そのため、設置工事を行う前に、必ず事前確認を行ってください。

4.工事前準備STEP1：いろいろな配線・接続方法の検討

本項では本機の使用目的により3つの配線・接続方法があります。
それを決めてから設置工事を行います。

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ① 本機・スマホ直接接続例 | → 【P4】 |
| ② 本機とWi-Fiルーター接続（スマートフォン接続） | → 【P5】 |
| ③ 本機とWi-Fiルーター接続（パソコン接続） | → 【P6】 |

1) 本機・スマホ直接接続例

もっとも基本的な接続方法です。

【P3】「超重要！」をご確認のうえ、設置工事を行う前に、必ずスマートフォンと本機の接続テストを行ってください。

接続テストでは、スマートフォンで本機の映像が正常に表示されている事を確認してください。

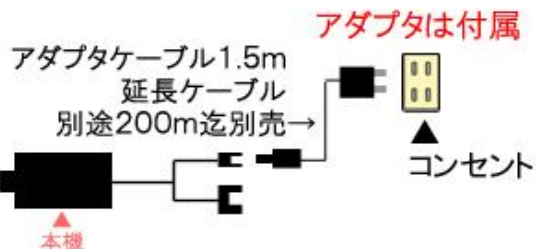
接続テストで映像が確認できることを確認してから、設置工事を行ってください

●本機・スマホ直接接続例【初心者の方へ向け】

APモード

ライブ映像及び録画映像の再生確認もスマートフォンで行います。
但し、本機 Wi-Fi 電波圏外ではスマホアクセスは出来ません。

カメラは複数台あっても
1台のスマホで対応可能



microSDカードに録画された映像はカメラから抜き取って、お手持ちのパソコンまで持って行き、**USB変換アダプタ**を使用してパソコンに接続して見る事も出来ます。

本機とスマートフォンの通信可能距離は、障害物なしの**見通し距離で30m**です。
一般的な木造住宅の場合は、「1F⇔3F」の距離感でも通信可能。
鉄筋コンクリートなどの建物は基本同一室内での通信のみ。



←例：USB 変換アダプタ
(お客様にてご調達)

2) 本機とWi-Fiルーター接続（スマートフォン接続）

本機を外出先からアクセスする場合の配線・接続方法です。

【P3】「超重要！」をご確認のうえ、設置工事を行う前に、必ずスマートフォンと本機の接続テストを行ってください。

接続テストでは、スマートフォンで本機の映像が正常に表示されている事を確認してください。

接続テストで映像が確認できることを確認してから、設置工事を行ってください

●本機とWi-Fiルーター接続【スマホでどこからでもアクセス】

本機とご家庭にあるルーターをWi-Fi接続すれば、外出先からでも本機のライブ・録画映像を確認できます。



※ 1 設定方法は、別紙「CamHiアプリ外出先からスマホでアクセス編」をご覧ください。

※ 2 この図ではWi-Fi無線でルーターに接続する図になっていますが、ルーターと本機をLANケーブルで接続することも可能です。



超重要！

特に、本機とWi-Fiルーターを無線で接続する場合は、設置工事を行う前に、想定する設置位置に本機を仮設置し、

商品同梱（ダウンロード可）の、取扱説明書・基本編【A】

【P15】-「10.外出先から本機へアクセス・映像確認・操作する接続方法」

をご覧ください。また、本機とWi-Fiルーターの接続試験を必ず行ってください。

設置工事後に本機とWi-Fiルーターを接続した際、Wi-Fi接続ができなかった場合には、本機の設置位置を変更するために、工事のやり直しが必要となる場合があります。

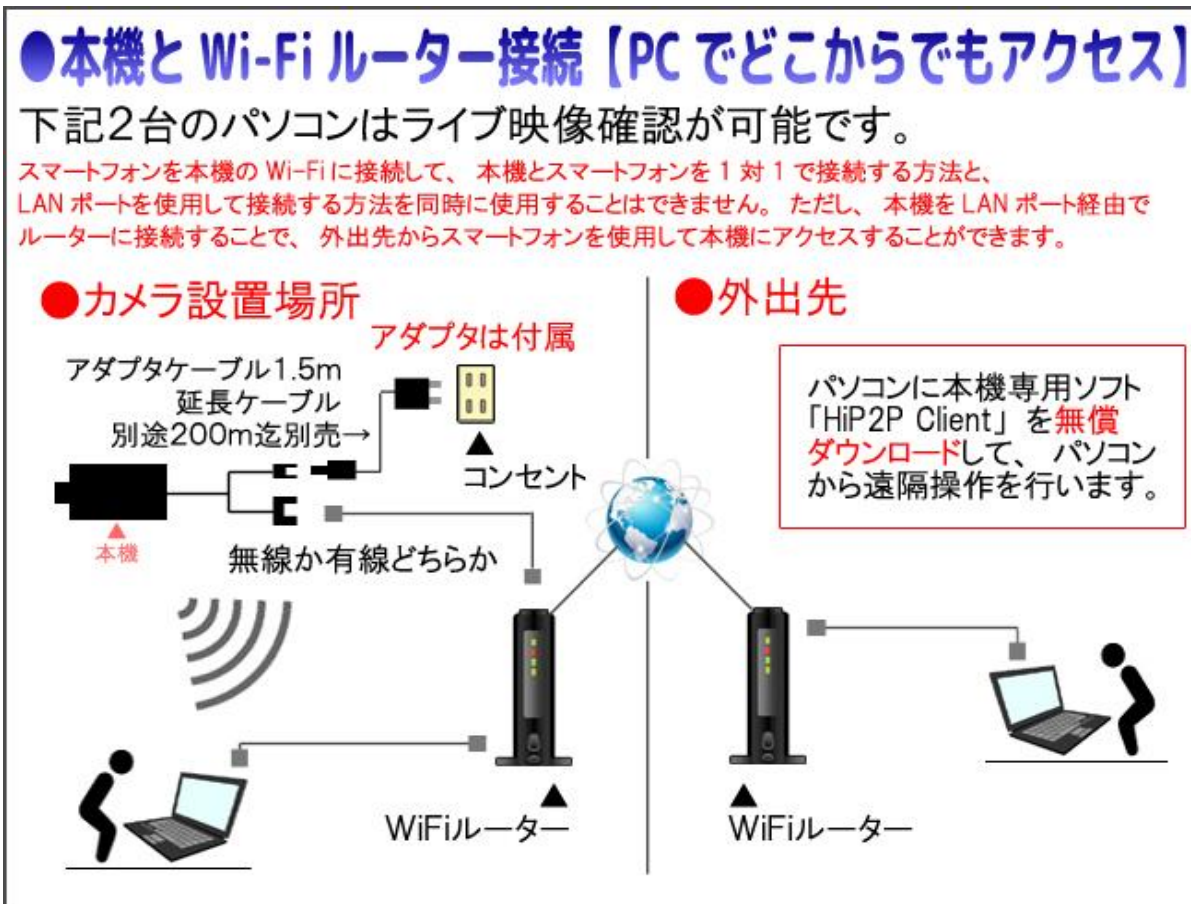
3) 本機とWi-Fiルーター接続（パソコン接続）

本機をパソコンからアクセスする場合の配線・接続方法です。

【P3】「超重要！」をご確認のうえ、設置工事を行う前に、必ずスマートフォンと本機の接続テストを行ってください。

接続テストでは、スマートフォンで本機の映像が正常に表示されている事を確認してください。

接続テストで映像が確認できることを確認してから、設置工事を行ってください



※ パソコン側設定方法は、別紙（ダウンロード）「取扱説明書・HiP2PClientでパソコン運用編【D】」をご覧ください



ご注意！

本機にLANケーブルを接続してLANポートを使用すると、本機からのWi-Fi電波は出力されなくなります。

そのため、スマートフォンを本機のWi-Fiに接続して使用方法（スマートフォンと本機の1対1接続）と、LANポートを使用して接続する方法を併用することはできません。

ただし、本機をLANケーブルでルーターに接続した場合は、スマートフォンからインターネット経由で外出先から本機にアクセスしたり、本機が接続されているルーターのWi-Fiにスマートフォンを接続して、本機にアクセスは可能です。

5.工事前準備STEP2：Wi-Fi電波の受信距離目安を考慮した、設置位置の検討

本機はWi-Fi電波を出力し、スマートフォンで映像を受信して見ることができます。ただし、Wi-Fiの通信距離には制限があります。通信可能な距離は、周囲の環境や建物の構造、壁の材質などによって大きく異なります。以下の距離は、あくまで目安としてお考えください。

▼ 本機とスマートフォンを直接通信する場合

- ① 障害物のない見通し距離の場合：約30m
- ② 一般的な規模の木造住宅の場合：1階と3階程度で通信可能

▼ 本機をWi-Fiルーター経由で接続する場合

- ① Wi-Fiルーターの通信可能距離を目安にしてください。

▼ ビルなどの鉄筋コンクリート建築物の場合

- ① 壁1枚でもWi-Fiの受信感度が極端に低下する場合があります。基本的には、同一室内での使用をおすすめします。

以上の通信距離を考慮したうえで、本機の設置位置を決めてください。



超重要！

特に、本機とWi-Fiルーターを無線で接続する場合は、設置工事を行う前に、想定する設置位置に本機を仮設置し、

商品同梱（ダウンロード可）の、取扱説明書・基本編【A】

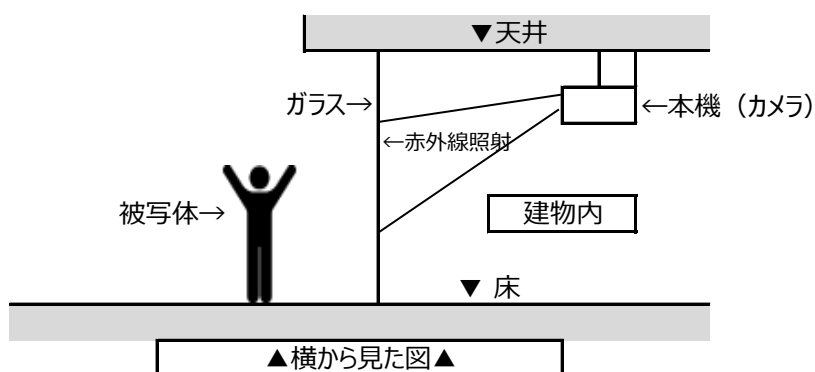
【P15】-「10.外出先から本機へアクセス・映像確認・操作する接続方法」

をご覧ください。また、本機とWi-Fiルーターの接続試験を必ず行ってください。

設置工事後に本機とWi-Fiルーターを接続した際、Wi-Fi接続ができなかった場合には、本機の設置位置を変更するために、工事のやり直しが必要となる場合があります。

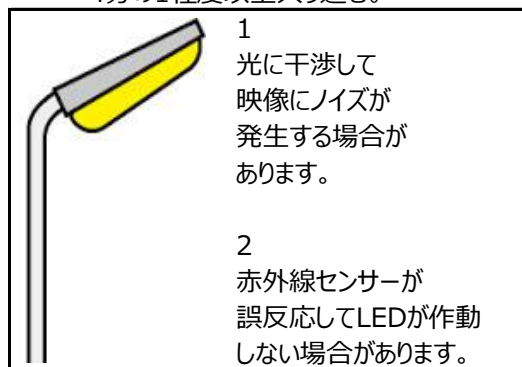
6.工事前準備STEP3：避けた方が良い設置場所・環境

- 使用温度範囲 0℃ ～ +40℃
使用湿度範囲 90%以下 の条件が満たせない環境。
- 冷凍庫、サウナ、スチーム室、浴室など上記の使用温度・湿度範囲を超える可能性がある場所。
- 海水が直接かかるような場所と明らかに潮風の影響かに置かれる場所（本機は塩害仕様ではありません）。
- 本機設置箇所と照明機器（蛍光灯・水銀灯など）との間隔が50cm以内になるような場所。
（照明機器とは50cm以上離して設置して下さい。映像上に発生するノイズの原因になります）
- 以下の設置環境かつ赤外線LEDが作動（点灯）した場合、赤外線LEDがガラスに反射して、映像が不鮮明または確認できない状態になりますので避けてください。



- ライブ映像の中に照明の光源が入りそうな場所。

例1： ライブ映像上に外灯光源部分が
4分の1程度以上入り込む。



例2： ライブ映像上に外灯光源部分が
ライブ映像中心に来る場合。



共通事項ですが、映像上に1点光が強い点があると
周りの被写体が暗くなる特性があります。

7.工事前準備STEP4：最終的には仮設して、映像を確認する。

本項でSTEP1～3まで説明しましたが、最終的には本機を手で持つなどして仮設状態で、最終的な映像を確認してから、本設工事を行ってください。

- 本機はカメラと被写体との直線距離目安があります。
これは顔などの証拠能力として捉えられる目安範囲（当社にてお勧め値・目安値）です。
本機⇄被写体間で

ES-CW721FW/C 1m～5m

ES-CD722FW/C 1m～5m

ES-CW723FW/P 1m～3m

人を立たせて、監視映像がイメージ通りかを確認してください。



超重要！



ES-CW723FW/Pの天井面設置について
アンテナの設置位置の関係で、天井面に設置する場合、制限が発生します。
詳しくは【P19】-STEP4をご覧ください。

8.本設工事

各型番別の本設工事の説明は以下の通りのページを参照してください。

① ES-CW721FW/C

→【P11】



② ES-CD722FW/C

→【P14】



③ ES-CW723FW/P

→【P17】



すでに下記STEP1の操作を完了していることを前提として、本書ではSTEP2以降の操作について説明しています。
そのため、STEP1の説明は読み飛ばしてください。

●設置工事 STEP1：スマートフォンとカメラ接続事前確認



超重要！

商品が届きましたら、机上・手元で

- ・ A 図のように仮接続
- ・ カメラに同梱の microSD を挿入
- ・ CamHi アプリでの登録、映像と録画映像の確認を必ず行ってください。

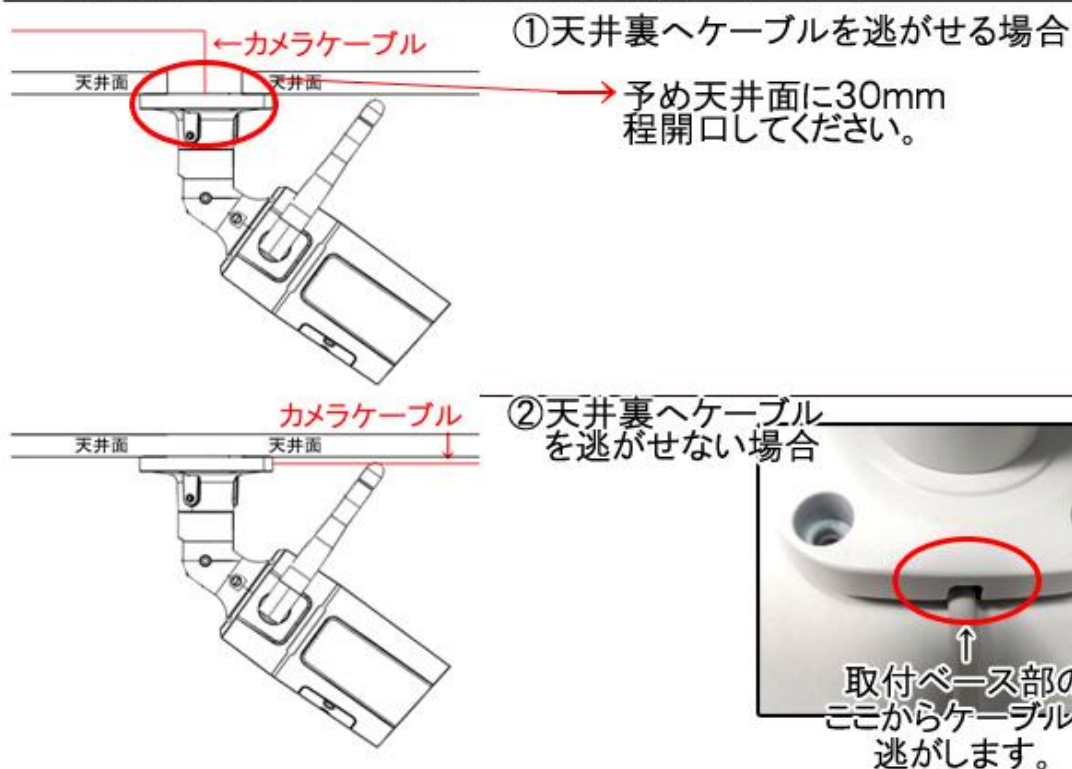
(ルーターへの Wi-Fi 接続する場合も事前確認を行ってください)



事前確認を行わずに設置工事を実施し、その後に「設定がうまくいかない」といった状況になった場合、原因の特定や切り分けが難しくなることがあります。
そのため、設置工事を行う前に、必ず事前確認を行ってください。

●設置工事 STEP2：ケーブル処理方法

カメラから出ているケーブルの逃がし方を検討してください。



●設置工事 STEP 3 : 固定支持材の選定

施工方法は各メーカーHPをご覧ください。

設置面により
使用ネジが
異なります。

事務所の天井
(石膏ボード)



WAKAI-カベロック-DX
ワカイ LDX000D
ドライバーで施工

コンクリート外壁
(ALC)



Fプラグ
F5
インパクトドライバー施工
ビスは本画像左中の
ノンブラビス使用

一般住宅外壁
(サイディング系)



ノンブラビス (ステン)
PWS-425DN
インパクトドライバーで施工

コンクリート外壁
(鉄筋等)



ノンブラビス (ステン)
PWS-425DN
ハンマードリルで施工

トタン壁
(アルミ・鉄板系)



ドリルビス (ステン)
MBS-525N
インパクトドライバーで施工

木面



木ねじ (屋外はステン)
M4- 首下 30mm

●設置工事 STEP 4 : 固定部材打ち込み

その前に・上・



① 薄茶色のシールを剥がす



② A の切り込みとスポンジの
切り込みの向きを同じ方向に
貼る。



【STEP3】で
選定した止め部材を取付ベース部の取付穴
4箇所へ打ち込んで固定します。

壁面設置の場合、ケーブルを逃がす
溝を床面に向けてください。
この溝が、上向きや横向きの場合、
カメラ内部に水が侵入する場合が
あります。



●設置工事 STEP 5 : 角度調整方法



この作業はモニター
映像を見ながら調整
します。
なのでモニター側・
カメラ側で2名作業を
お勧めします。



上記3点締め部分は写真ではネジ式ですが、
出荷時期・バージョンにより、六角ネジの場合があります。
この場合、付属品として六角レンチが付属します。



●最後の手順
上記の3点を確実に増締めしてください。

すでに下記STEP1の操作を完了していることを前提として、本書ではSTEP2以降の操作について説明しています。そのため、STEP1の説明は読み飛ばしてください。

●設置工事 STEP1：スマートフォンとカメラ接続事前確認

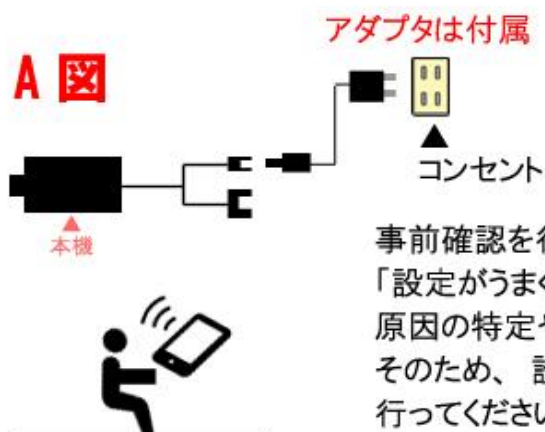


超重要！

商品が届きましたら、机上・手元で

- ・ A 図のように仮接続
- ・ カメラに同梱の microSD を挿入
- ・ CamHi アプリでの登録、映像と録画映像の確認を必ず行ってください。

(ルーターへの Wi-Fi 接続する場合も事前確認を行ってください)



事前確認を行わずに設置工事を実施し、その後に「設定がうまくいかない」といった状況になった場合、原因の特定や切り分けが難しくなることがあります。そのため、設置工事を行う前に、必ず事前確認を行ってください。

●設置工事 STEP2：ケーブル処理方法

カメラから出ているケーブルの逃がし方を検討してください。



①天井裏へケーブルを逃がせる場合



②天井裏へケーブルを逃がせない場合

カメラ側面の溝からケーブルを逃がします→



●設置工事 STEP3：固定支持材の選定

施工方法は各メーカーHPをご覧ください

設置面により
使用ネジが
異なります。

事務所の天井
(石膏ボード)



WAKAI-カベロック-DX
ワカイ LDX000D
ドライバーで施工

コンクリート外壁
(ALC)



Fプラグ
F5
インパクトドライバー施工
ビスは本画像左中の
ノンブラビス使用

一般住宅外壁
(サイディング系)



ノンブラビス (ステン)
PWS-425DN
インパクトドライバーで施工

コンクリート外壁
(鉄筋等)



ノンブラビス (ステン)
PWS-425DN
ハンマードリルで施工

トタン壁
(アルミ・鉄板系)



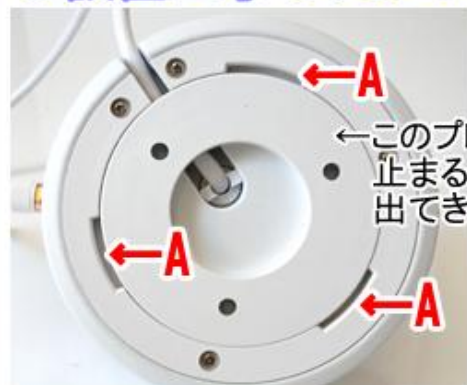
ドリルビス (ステン)
MBS-525N
インパクトドライバーで施工

木面

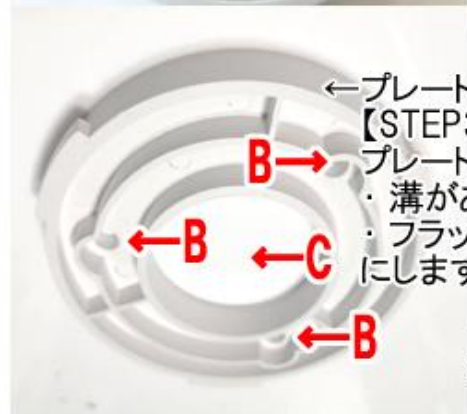


木ねじ (屋外はステン)
M4- 首下 30mm

●設置工事 STEP4：プレートを設置面に固定



←このプレートを押込みながら、反時計回りへ
止まるまで回転させると、A・3点にプレートの爪が
出てきます。そしてプレートだけ外します。



←プレートを設置面に抑え込みながら B・3点に
【STEP3】で選定したビスを打ち込みます。

プレートは

・溝がある面が見えるようにする。
・フラットになっている方を設置面 (天井) 側
にします。

【STEP2】で①の設置方法の場合は C に
30mmの穴がある状態になります。

●設置工事 STEP5：プレートにカメラをはめ込む

←STEP4 で固定したプレート
←プレートの爪 3 点

カメラをプレートに押し込む

【カメラをプレートに押し込むとき】

- ・カメラ側の爪を入れる場所3点
- ・プレートの爪の位置3点

を合わせて押し込む。
爪の位置が合致したら、カメラを時計回りに止まるまで回す。

【ご注意：ケーブル処理】

STEP2 で①の場合は、カメラ側ケーブルとご用意してあるケーブルを接続して、設置面裏側へ押し込んでおきます。
STEP2 で②の場合は、カメラ本体のケーブル切り込み部分にカメラ側ケーブルを押し込んでおきます。

【カバーを外す】

A・3 点のビスを外してカメラ本体から外側カバーを外します。



●設置工事 STEP6：角度調整方法

【レンズの傾き調整】

A・2 点を親指・人差し指で挟むように①の方向で傾きの調整を行います。

【水平の左右調整】

B・2 点のネジ部分を・親指・人差し指で挟むように持って、②の方向に左右に回転させることができます。

【上下の調整】

C・2 点の部分を親指・人差し指で挟むように持って、B のネジ部を起点に上下の調整を行います。





超重要！



ES-CW723FW/Pの天井面設置について
アンテナの設置位置の関係で、天井面に設置する場合、制限が発生します。
詳しくは【P19】-STEP4をご覧ください。

すでに下記STEP1の操作を完了していることを前提として、本書ではSTEP2以降の操作について説明しています。
そのため、STEP1の説明は読み飛ばしてください。

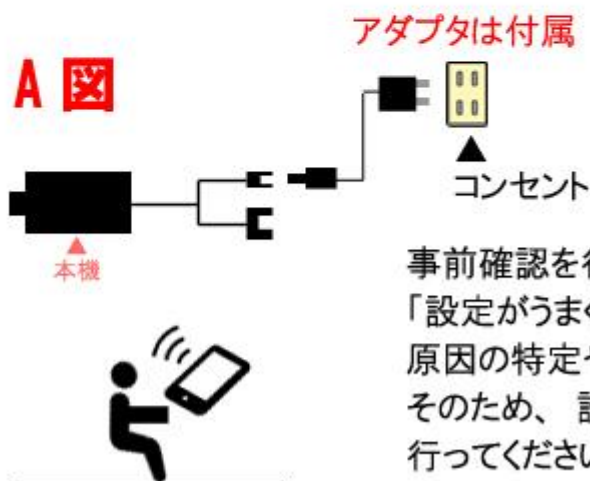
●設置工事 STEP1：スマートフォンとカメラ接続事前確認



超重要！

商品が届きましたら、机上・手元で

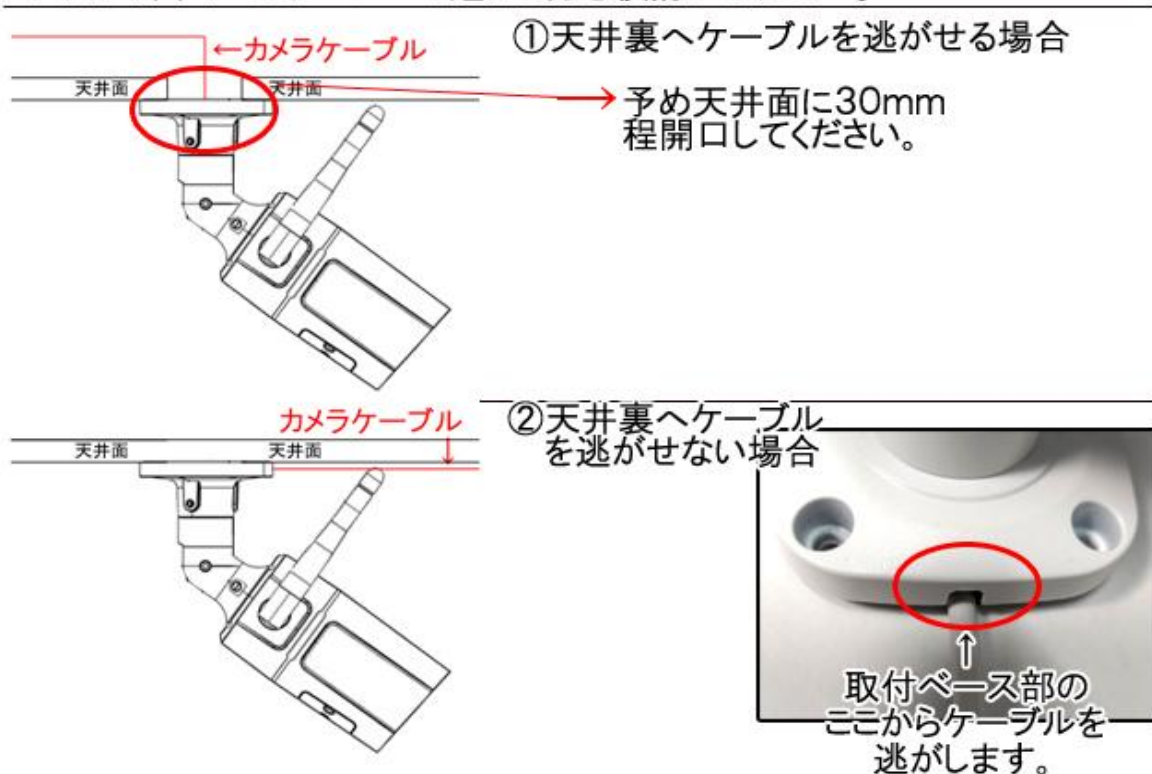
- ・ A 図のように仮接続
 - ・ カメラに同梱の microSD を挿入
 - ・ CamHi アプリでの登録、映像と録画映像の確認
- を必ず行ってください。
(ルーターへの Wi-Fi 接続する場合も事前確認を行ってください)



事前確認を行わずに設置工事を実施し、その後に
「設定がうまくいかない」といった状況になった場合、
原因の特定や切り分けが難しくなることがあります。
そのため、設置工事を行う前に、必ず事前確認を
行ってください。

●設置工事STEP2: ケーブル処理方法

カメラから出ているケーブルの逃がし方を検討してください。



●設置工事STEP3: 固定支持材の選定

施工方法は各メーカーHPをご覧ください。

設置面により
使用ネジが
異なります。

事務所の天井
(石膏ボード)



WAKAI-カベロック-DX
ワカイ LDX000D
ドライバーで施工

コンクリート外壁
(ALC)



Fプラグ
F5
インパクトドライバー施工
ビスは本画像左中の
ノンブラビス使用

一般住宅外壁
(サイディング系)



ノンブラビス (ステン)
PWS-425DN
インパクトドライバーで施工

コンクリート外壁
(鉄筋等)



ノンブラビス (ステン)
PWS-425DN
ハンマードリルで施工

トタン壁
(アルミ・鉄板系)



ドリルビス (ステン)
MBS-525N
インパクトドライバーで施工

木面



木ねじ (屋外はステン)
M4- 首下 30mm

●設置工事 STEP 4 : 天面設置の場合の検討【重要】

・改善手順1



A のグリップを緩めてカメラ本体の傾きを前項 C のようにアンテナがカメラ取付台に当たるまで左に傾けます。そうすると B のように一番緩い傾きにさせます。



・改善手順2



設置場所候補に手で持ってスマートフォンで実際の映像を確認してください。カメラが多少傾いているので**メインになる被写体は斜めから撮影するような位置**で映像を確認してください。

・改善手順3



A のグリップを起点に水平方向（左右）の調整ができますので水平移動をさせることにより、映像の多少の傾きを取ることができます。

改善手順2・3を繰り返しながら最適な位置を探します。

●設置工事 STEP 5 : 固定部材打ち込み

その前に・・・



①薄茶色のシールを剥がす



②A の切り込みとスポンジの切り込みの向きを同じ方向に貼る。



【STEP3】で選定した止め部材を取付ベース部の取付穴3箇所へ打ち込んで固定します。

壁面設置の場合、ケーブルを逃がす溝を床面に向けてください。この溝が、上向きや横向きの場合、カメラ内部に水が侵入する場合があります。



●設置工事 STEP 6：角度調整方法



この作業はモニター映像を見ながら調整します。
なのでモニター側・カメラ側で2名作業をお勧めします。



●最後の手順
手動で確実に締め切ってください。

9.設置工事応用編：プルボックス施工

屋外設置の場合、ケーブルを隠蔽できる状態であれば心配はありませんが、ケーブルを隠蔽できない場合は、カメラとケーブルの接続部が露出してしまいます。

本項のようにプルボックスを使用すれば接続部を完全に隠蔽でき、かつメンテナンス性にも優れています。

本項でご紹介するのはあくまでもお勧めの施工方法です。

●プルボックス施工・STEP1

以下のようなボックスを使用します。

当社でもご用意可能です（当社加工費含・別売り）。

推奨するプルボックスは

- ボックスメーカー：未来工業
- 名称：PVK ボックス（防水タイプ）おねじキャップ付
- 製品型番：PVK-ALNPM（ミルキーホワイト）

です。下記写真はボックスの図面・写真です。

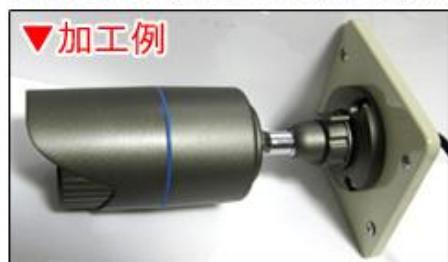
プルボックスは当社
でも加工・組立、
付属品付で販売して
おります。



類似品はホームセンター電気材料コーナーまたはネット販売で入手可能です。

●プルボックス施工・STEP2

このプルボックスのフタを以下のように加工します。



▼加工例

フタ側にカメラ止穴を3点と中央に30mmの入線口1点。
ステンレス鍋頭・首下30mmのビス3本
ステンレス4mm用平ワッシャー3枚
ステンレス4mmナット3個
でフタと連結します。



▼写真1

次にボックス内部に左写真のように5mm程度の穴を4点开けて、ボックスを設置面に固定するビス穴を作ります。
この5mm程度の穴を開ける時のポイントは、フタ・ボックス固定するA部分のネジ穴、今から開ける穴が被らないようにしてください。設置面内側からケーブルが入る場合、Bが切込になっていますので、ドライバーなどで叩くと簡単に穴が空きます。

底面に5mm程度の穴を4点开ける。

●プルボックス施工・STEP3



前項の写真1のボックス本体をビスなどで固定します。
当社のボックス（加工済・付属品付）の場合は設置面止め部材として、

ステンレスラスタツピンビス・首下40mm 4本



※重要※



が同梱されています。
但し、設置面により、止め部材を変更する必要があります。
以下は使用例です。

石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック
パット・ITハンガー
コンクリート等の躯体：コンクリートビス、ノンプラグ

ビスの太さは4mm が適切です。
同梱のビス以外はお客様にてご調達ください。
止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

●プルボックス施工・STEP4

▼施工例



左写真のようにケーブルをボックス内に入れ込み、接続します。写真の様にケーブルを収納してカメラ側のフタを被せてください。

▼完成例



PF管という電気材料にケーブルを通すとケーブルが完全に保護出来ます。簡易的にケーブルを保護する場合（ご家庭やPF管設置が技術的に困難な場合）は踏まれないようなルートを確認してください。



この穴をパテという粘土で塞ぎます。



手でちぎります。



隙間なく埋めます。

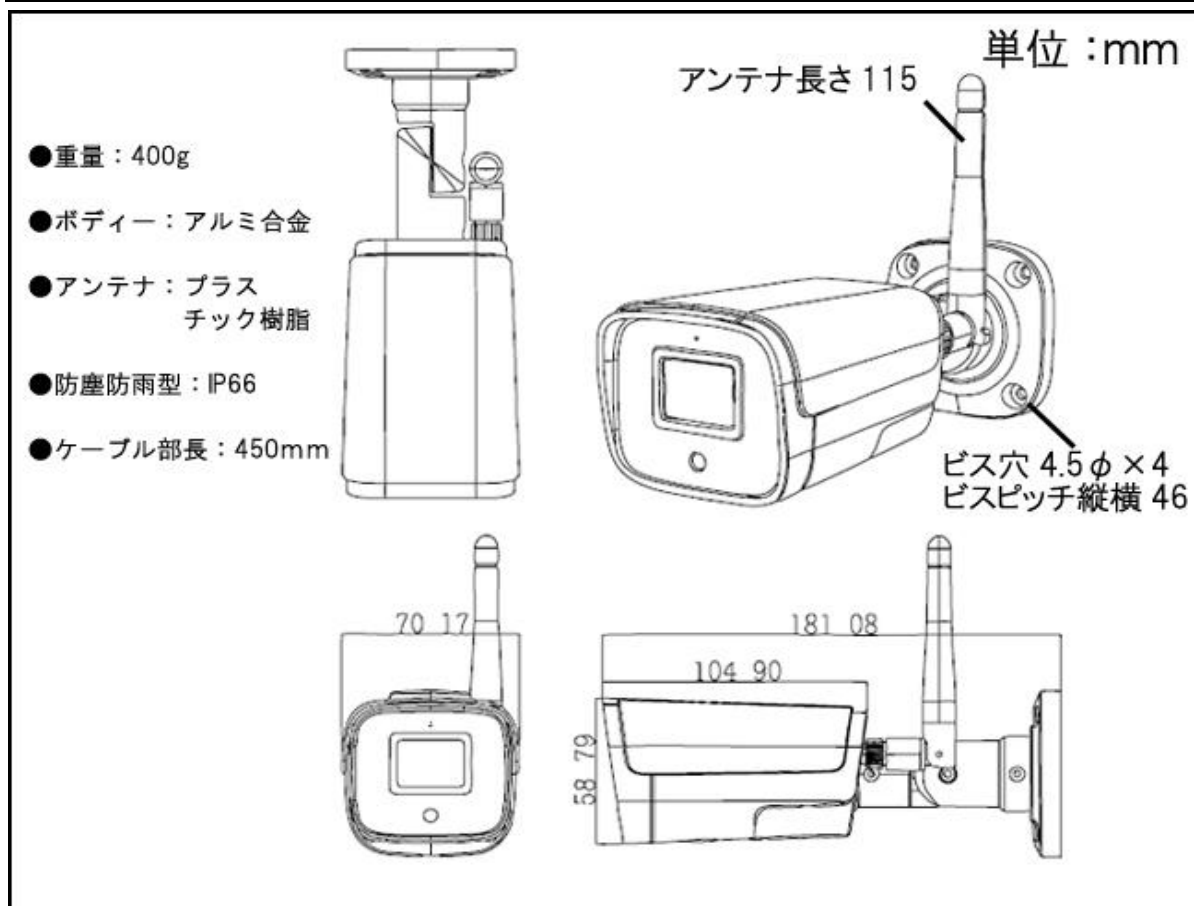


その他のご説明については本書の表紙のQRコード欄をご覧ください、目的別に説明書をダウンロードしてください。

仕様表：Wi-Fi/SDカード録画カメラ バレット型（筒型） ES-CW721FW/C



本機は総務省・電波法令で定める「技術基準適合証明」を受けた機器です。
認証番号は製品にステッカーを貼って表示してありますが、事前確認ご希望の方はお問い合わせください。

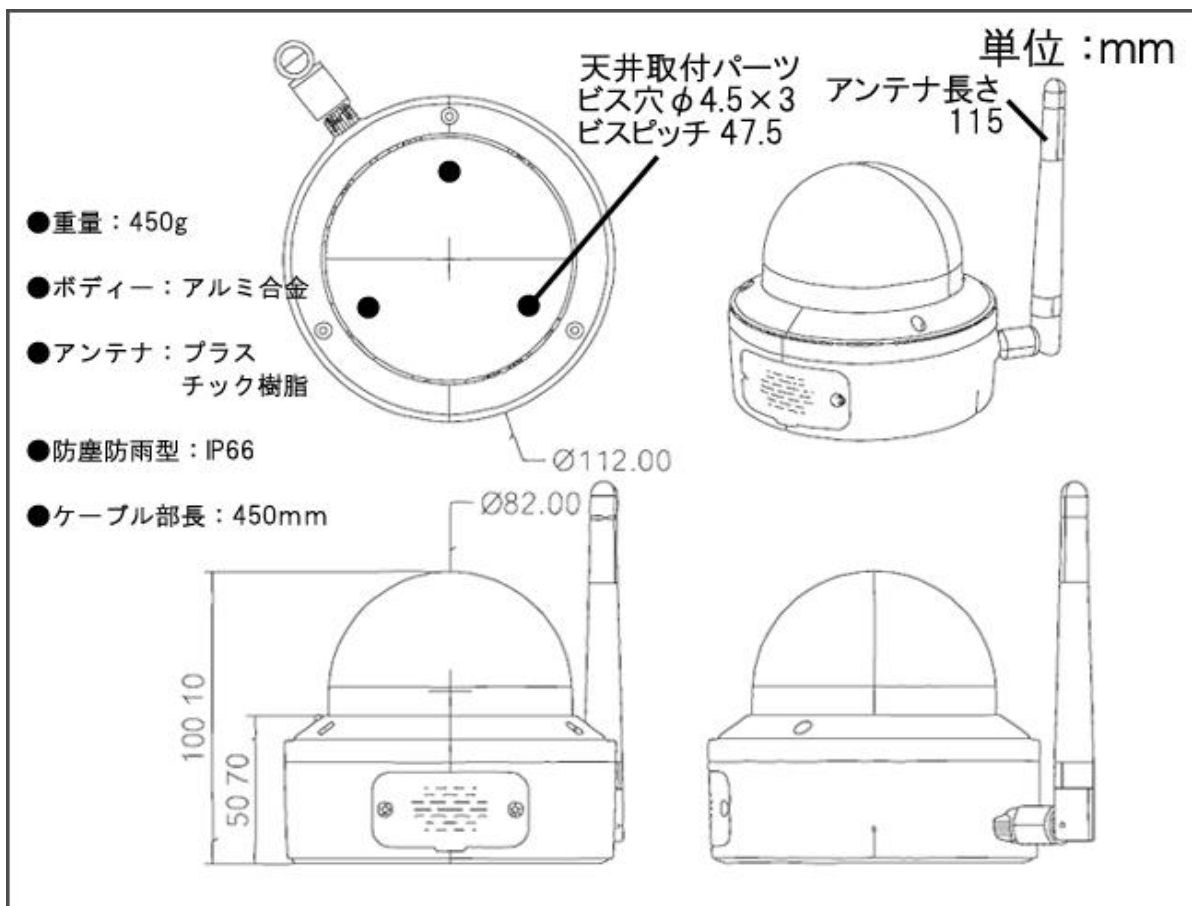


型番	ES-CW721FW/C
カラー	ホワイト
監視目安距離	2～5m（人物の顔が特定できる範囲）
カメラ入力電源 / 消費電力	DC12V(PoE搭載なし・アダプタ電源のみ対応) / 1A / 12W
形状/外観材質	バレット型（筒型）/アルミニウム
国際保護等級 / 設置可能場所	IP66 / 屋内・屋外（防雨仕様）
視野角 / 搭載 C C D/F値	水平約85°垂直約50° / 1/2.9" CMOS Sensor 3.6mm / カラー時F1.2
赤外線LED数/投射距離/起動照度	2個 / 15m / 0Lux
SDスロット/最小・最大容量	スロット×1 / 32GB～128GB
ライブ・録画映像フォーマット	H.265
ライブ・録画映像解像度/ストリーム数	200万画素(1920×1080) / 2ストリーム
ライブ・録画映像フレーム/ビットレート	1-25FPS / 32Kbps-6144bps, CBR/VBR
ネットワークプロトコル	TCP/IP, HTTP, TCP, ICMP, UDP, ARP, IGMP, SMTP FTP, DHCP, DNS, DDNS, NTP, UPNP, RTSP
イーサネット/ONVIF/P2P機能	RJ-45 × 1 / 2.0 / 有
WindosMediaPlayer互換性	スマートフォン上で変換可能
音声/音声フォーマット	ライブ双方向通話可・音声録音可能 / AAC/G.711,
ワイヤレス機能	有（IEEE802.11 a/b/g/n、WiFi2.4GHz帯・無線ルーター接続可能） 総務省の定める「技術基準適合証明」取得機器
使用温度範囲 / 使用湿度範	0℃ ～ +40℃ / 90 %以下
対応OS / 対応ブラウザ	Windows11 / Microsoft edge・IEモードでアクセス可能
対応モバイル端末/対応アプリ	iPhone, Andoroid（専用のビューワーソフトで閲覧可） / CamHi
主要機能	microSDカード録画, 動体検知録画, 動体検知静止画記録 スケジュール録画, microSDカード録画, ネット経由アクセス, 夜間時暗視

仕様表：Wi-Fi/SDカード録画カメラ ドーム型 ES-CD722FW/C



本機は総務省・電波法令で定める「技術基準適合証明」を受けた機器です。
 認証番号は製品にステッカーを貼って表示してありますが、事前確認ご希望の方はお問い合わせください。

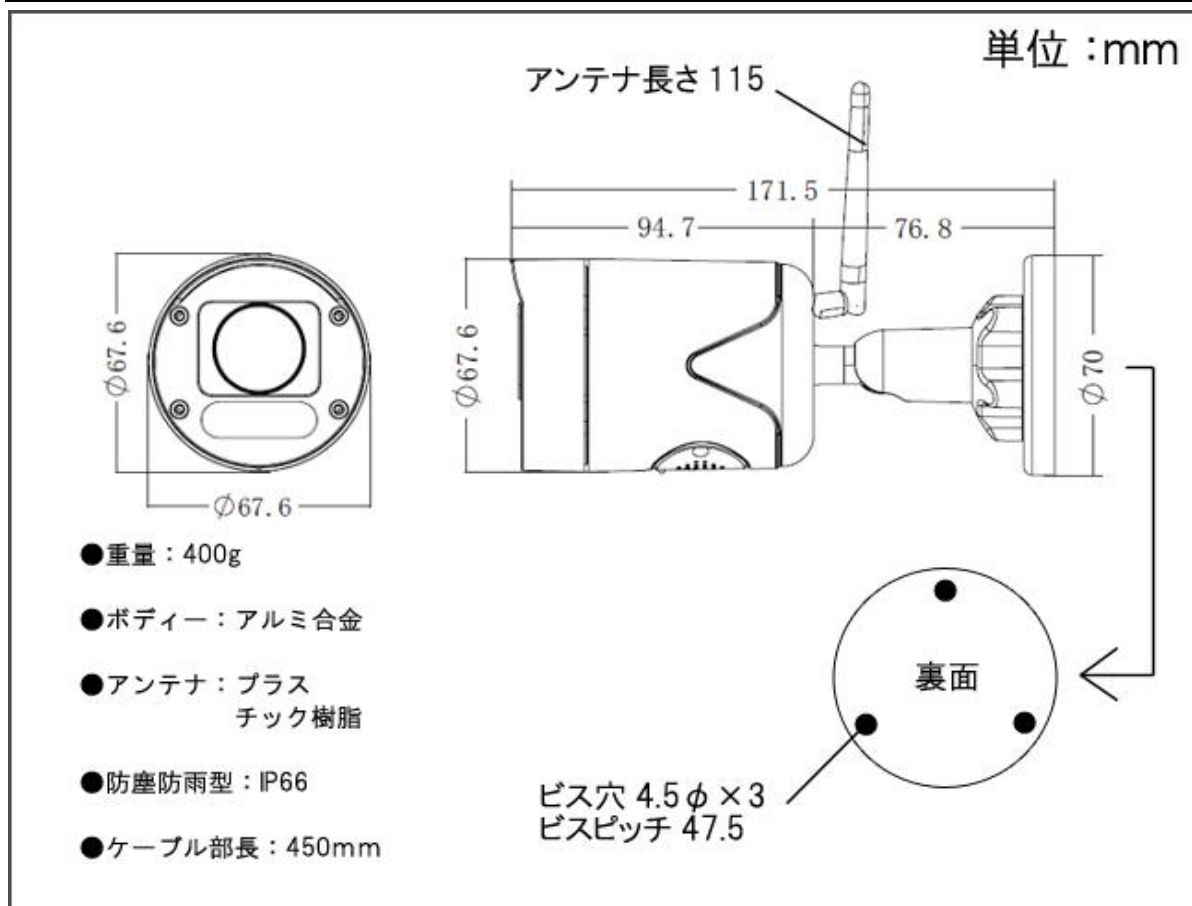


型番	ES-CD722FW/C
カラー	ホワイト
監視目安距離	2～5m（人物の顔が特定できる範囲）
カメラ入力電源 / 消費電力	DC12V(PoE搭載なし・アダプタ電源のみ対応) / 1A / 12W
形状/外観材質	ドーム型/アルミニウム
国際保護等級 / 設置可能場所	IP66 / 屋内・屋外（防雨仕様）
視野角 / 搭載 C C D/F値	水平約85°垂直約50° / 1/2.9" CMOS Sensor 3.6mm / カラー時F1.2
赤外線LED数/投射距離/起動照度	12個 / 15m / 0Lux
SDスロット/最小・最大容量	スロット×1 / 32GB～128GB
ライブ・録画映像フォーマット	H.265
ライブ・録画映像解像度/ストリーム数	200万画素(1920×1080) / 2ストリーム
ライブ・録画映像フレーム/ビットレート	1-25FPS / 32Kbps-6144bps, CBR/VBR
ネットワークプロトコル	TCP/IP, HTTP, TCP, ICMP, UDP, ARP, IGMP, SMTP FTP, DHCP, DNS, DDNS, NTP, UPNP, RTSP
イーサネット/ONVIF/P2P機能	RJ-45 × 1 / 2.0 / 有
WindosMediaPlayer互換性	スマートフォン上で変換可能
音声/音声フォーマット	ライブ双方向通話可・音声録音可能 / AAC/G.711,
ワイヤレス機能	有（EEE802.11 a/b/g/n、WiFi2.4GHz帯・無線ルーター接続可能） 総務省の定める「技術基準適合証明」取得機器
使用温度範囲 / 使用湿度範	0℃ ～ +40℃ / 90 %以下
対応OS / 対応ブラウザ	Windows11 / Microsoft edge・IEモードでアクセス可能
対応モバイル端末/対応アプリ	iPhone, Andoroid（専用のビューワーソフトで閲覧可） / CamHi
主要機能	microSDカード録画, 動体検知録画, 動体検知静止画記録 スケジュール録画, microSDカード録画, ネット経由アクセス, 夜間時監視

仕様表：Wi-Fi/SDカード録画カメラ バレット型（筒型） ES-CW723FW/P



本機は総務省・電波法令で定める「技術基準適合証明」を受けた機器です。
認証番号は製品にステッカーを貼って表示してありますが、事前確認ご希望の方はお問い合わせください。



型番	ES-CD723FW/P
カラー	ホワイト
監視目安距離	1～3m（人物の顔が特定できる範囲）
カメラ入力電源 / 消費電力	DC12V(PoE搭載なし・アダプタ電源のみ対応) / 1A / 12W
形状/外観材質	バレット型（筒型）/アルミニウム
国際保護等級 / 設置可能場所	IP66 / 屋内・屋外（防雨仕様）
視野角 / 搭載 C C D/F値	水平約180°垂直約55° / 1/2.9" CMOS Sensor 1.8mm / カラー時F1.2
赤外線LED数/投射距離/起動照度	4個 / 10m / 0Lux
SDスロット/最小・最大容量	スロット×1 / 32GB～128GB
ライブ・録画映像フォーマット	H.265
ライブ・録画映像解像度/ストリーム数	200万画素(1920×1080) / 2ストリーム
ライブ・録画映像フレーム/ビットレート	1-25FPS / 32Kbps-6144bps, CBR/VBR
ネットワークプロトコル	TCP/IP, HTTP, TCP, ICMP, UDP, ARP, IGMP, SMTP FTP, DHCP, DNS, DDNS, NTP, UPNP, RTSP
イーサネット/ONVIF/P2P機能	RJ-45 × 1 / 2.0 / 有
WindosMediaPlayer互換性	スマートフォン上で変換可能
音声/音声フォーマット	ライブ双方向通話可・音声録音可能 / AAC/G.711,
ワイヤレス機能	有（IEEE802.11 a/b/g/n、WiFi2.4GHz帯・無線ルーター接続可能） 総務省の定める「技術基準適合証明」取得機器
使用温度範囲 / 使用湿度範	0℃ ～ +40℃ / 90 %以下
対応OS / 対応ブラウザ	Windows11 / Microsoft edge・IEモードでアクセス可能
対応モバイル端末/対応アプリ	iPhone, Andoroid（専用のビューワーソフトで閲覧可） / CamHi
主要機能	microSDカード録画、動体検知録画、動体検知静止画記録 スケジュール録画、microSDカード録画、ネット経由アクセス、夜間時監視